

トピックス

ドイツで葛巻神楽を公演



練習に励む葛巻高・郷土芸能部

葛巻高校の郷土芸能部は、ドイツ連邦共和国のラインラント・プファルツ州コブレンツ市で開催される「ブندեսガーデンショー2011」に招待され8月8日、葛巻神楽の公演を行う予定です。

また、本町は同州バート・デュルクハイム市との交流（葛巻高原食品加工（株）が主催するワインの旅）が今年で10年目を迎えることから、同市でも友好公演を行うとともに、高校生はホームステイの体験も併せて行うことになっています。

訪問団は、觸澤義美副町長を団長に葛巻高校の郷土芸能部、葛巻神楽保存会の方々など総勢15人で、8月4日から13日までの10日間の日程で渡航する予定です。

なお、町議会からは山岸はる美議員が副団長として訪問団に参加します。

全国町村議会議長会から

義援金、町に30万円

3月11日に発生した東日本大震災に伴い、全国の町村議会議長会から全国町村議会議長会へ寄せられた義援金の配分が行われ、本町には30万円が贈られました。

義援金は、災害救助法の適用を受けた岩手、宮城、福島、茨城の各県の計98町村に対し、震災の被害程度に応じ、町村議会

を通じて各町村に配分されたもので、5月12日に中崎和久議会議長から鈴木重男町長へ手渡しました。

町では、震災以降、被災された沿岸の町村へ職員を派遣するなど支援を継続しており、その経費などに役立てることとしています。



鈴木町長（右）へ義援金を手渡す中崎議長

情報公開

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。

各団体の總會、式典の会費が主なものです。

4月 18,600円（故上原清善氏葬儀ほか）

5月 34,000円（町観光協会通常總會ほか）

6月 12,000円（高砂荘運動会ほか）

編集後記

中尊寺や毛越寺などに代表される「平泉の文化遺産」が、東北地方初となるユネスコの世界文化遺産に登録され、東日本大震災で大きな被害を受けた本県の復興に向けた希望の光となっています。

一方で、今年の夏は原発事故の影響により、「節電」が全国的な話題となっていますが、こまめな水分補給を行うなど、体調管理には十分気を付けましょう。

広報発行常任委員

鳩岡明男